

第18回 社協映画まつり

「北の桜守」

(126分・日本語字幕付き)



●解説

吉永小百合が主演を務めた、北海道の大地を背景にした『北の零年』『北のカナリアたち』に次ぐ“北の三部作”の集大成となる人間ドラマ。『おくりびと』などの滝田洋二郎監督がメガホンを取り、戦中から戦後の激動の時代を死に物狂いで生き抜いた親子の姿を描く。息子を、NHKの大河ドラマ「真田丸」やテレビドラマ「半沢直樹」などの堺雅人が熱演。戦争の悲惨さと、生きることの尊さを伝える物語に心を動かされる。

●あらすじ

1945年、樺太で暮らす江蓮てつ（吉永小百合）は、8月にソ連軍が侵攻してきたために2人の息子と一緒に命からがら北海道の網走まで逃げる。凍てつく寒さと飢えの中、てつたち親子は必死に生き延びるのだった。1971年、アメリカで成功を収めた次男の修二郎（堺雅人）は日本初のホットドッグ店の社長として帰国し、網走へと向かう。

© ©2018 「北の桜守」製作委員会

日時 **5月31日(金)** 開場18:00、上映18:30
場所 **橋本市民会館ホール**

*入場券 前売入場券500円、当日入場券600円

※前売入場券完売次第、販売は終了。当日券はありません。

*販売枚数 400枚（原則お一人様2枚まで）

*販売開始 **5月8日(水)正午~17:15** 翌日からは、8:30~17:15（土日は除く）

◀販売場所・お問い合わせ先▶

橋本市社会福祉協議会 〒648-0072 橋本市東家1-3-1 市保健福祉センター2階
電話:33-0294 FAX:33-4377

○電話、FAXでの予約は取り扱いしません。

○車でお越しの方は、橋本市民会館西隣の職員駐車場または保健福祉センターの駐車場をご利用下さい。

○車いすでご来場の方は事前にご連絡下さい。